

花巻ファーマー

さまざまな場面で楽しんでもらえる花を作りたい



多田 孝明 さん(62歳)
礼子 さん(56歳)
(東和町田瀬)

農業を営む多田さん夫妻は、約60^年の畑で花きを栽培しています。
今の時期はリンドウを栽培・出荷しているほか、県内でも10人ほどこしか出荷していないというアルストロメリアの栽培にも力を注いでいます。
「アルストロメリアはさまざまな色を楽しめる花。冠婚葬祭で活躍するし、アレンジメントにも使えます」と話す夫の孝明さん。「冬も楽しめ、持ちも良い」と言います。
孝明さんは20年前に就農。きっかけは、当時勤めていた東和町役場農林課で出会ったリンゴ農家さんだそうです。「やりがいを持って仕事をする姿を見て、農業に魅力を感じた」と当時を振り返る孝明



多田さんが力を注ぐアルストロメリア。さまざまな色を楽しめます

さん。実際に就農して、今では農業という職業にやりがいと誇りを持っていると言います。
妻の礼子さんも6年前から一緒に花き栽培を始めました。「年齢的に農業をやれるのはあと10年くらい。本当はもっともっとやりたいです。1日が過ぎるのがあつという間ですね」と夫婦でしみじみと話します。「今後もじっくり花と向き合っていきたい」と多田さん夫妻は目を輝かせていました。

広げよう
活動の輪

市民活動団体紹介

聴覚障がい者の社会参加のお手伝い
要約筆記サークル花巻「こぶし」

【問い合わせ】
要約筆記サークル花巻「こぶし」
会長 菅原ミキ子さん
花巻社会福祉協議会内
(☎24-7222)

要約筆記サークル花巻「こぶし」は、耳が聞こえにくく、手話が難しいと感じている人たちの社会参加を支援する団体です。平成16年に設立し、11人の会員で活動しています。
同団体は、市内で開催される講座や講演会などの場で、講師や司会が話す内容を筆記で通訳。広い会場では、筆記したものをスクリーンに映し出し、参加者に情報が正しく伝わるよう取り組んでいます。
「要約筆記した内容が参加者に伝わり、笑顔が見られた時にやりがいを感じます」と会員の皆さん。「今後も毎月開催している例会の場で要約筆記の練習を重ね、多くの情報を分かりやすく伝えたい」と意欲を見せています。
* 同団体では、会員を随時募集しています



1 講師が話す内容を要約筆記している様子



2 要約筆記サークル花巻「こぶし」の皆さん

市民生活コーナー

高齢者のスマホトラブルに注意！

■どんな相談があるの？

○スマートフォン機種変更をするために店舗に行き、1番安いプランを希望したところ、タブレット端末とのセット契約を勧められ申し込んだ。後日届いた請求書を見るとより高額だった上に、説明がなかったため無料だと思っていた充電器などの付属品が有料

■注意することは？

○契約書にサインする前に、▼どの契約で料金が発生するか▼月額料金▼中途解約時の違約金などについて確認しておきましょう。タブレット端末や光回線など

だった

○友人とスマートフォンで電話をした。5分くらいの通話だと思っていたが、お互いに電話が切れておらず、約8時間分の高額な通話料を請求された

■困ったときは？

○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

複数のサービスを勧められた場合は内容を理解した上で契約することが大切です。必要がないと思った契約はその場で断りましょう

○携帯電話会社や販売店では、スマホ教室を提供している場合があります。参加してみても基本的な操作を試し、自分に合うか確認してみましょう

COLUMN:Health

健康コラム

胃がん検診のハテナ

胃がん検診と言えば、バリウムを飲んで撮影する胃のレントゲン検査。今回は胃がん検診のハテナについてお答えします。



●検査直前。あめくらいなら食べてもいい？

検査当日は食事はもちろん、あめやガムも禁止です。たとえ少量でも食べ物が胃に入ると胃液が分泌され、バリウムが胃に付着しにくくなってしまいます。カフェインやニコチンなどの成分が胃液の分泌を促すため、コーヒーやお茶の飲用、たばこの喫煙もできません。処方薬は検査の2時間前まで内服できますが、サプリメントを服用する場合は検査後にしましょう。



●検査終了。バリウムを早く排出するためには？

まず検査が終わってすぐに、渡された下剤を500^{ミリ}程度の水で飲みます。腸の動きを活発にするため、朝食はなるべく早く食べましょう。食物繊維を多めに取れるといいですね。バリウムは固まりやすいので、正常な便を形成するためには普段よりも水分が必要です。検査後は水分をたっぷり取りましょう。そして便が出るまでは、便意がなくても定期的にトイレでかんでみましょう。

花巻市では、40歳以上の人を対象に胃がん検診を実施しています。年に1回胃がん検診を受けましょう。下記へ申し込みください。

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)

地域おこし協力隊

フドウ農家を目指して
-フドウ栽培担当 瀬川 達矢-

今年の5月からブドウ畑を借り、自分で栽培を始めました。最初はまだ始めるのは早いかなと迷いもありましたが、思い切ってやってみることにしました。借りた畑は20%ほどでキャンベルアーリーやナイヤガラ、デラウエアを植えています。5月ごろは芽吹きもまばらで今年の収穫は大丈夫だろうか心配していましたが、6月・7月と時が進むにつれ、その心配は不要だったと痛感させられています。あつという間に畑はブドウのツルで前が見えないほどになってしまいました。樹齢約



◀昔ながらの品種「キャンベルアーリー」

30年のブドウの樹ですがまだまだ勢いは衰えていないようです。

蒸し暑い中、ずっと上を向きながらの房作りは根気のいる作業です。さらに子育てしながらの農作業なので、思うようには進まず不安になることも多々あります。ですが、ブドウの房一つ一つを我が子と思いながら一つでもいいものが収穫できるよう、これからも頑張りたいと思います。